



大月市に住んでみませんか！？

【大月市の子育て・教育・定住促進等に関する支援施策一覧】

令和3年4月1日現在

大月市では「住んでみたいまち」の実現に向けて、子育て・教育・定住促進等の支援施策を紹介しています。現在、支援項目数は87項目あります。下線のある施策名をクリックすると、大月市ホームページのサイトに移動します。大月市に住む予定のある方、大月市に住んでみたいと考えている方は是非ご覧ください。


子育て・教育を応援します

※市外局番 0554

施策名	事業概要	担当課
母子健康手帳の交付	医師の診断で妊娠が確認され、妊娠届出をされた方に母子健康手帳と妊婦健診・乳児検診の受診票を交付します。	子育て健康課 健康増進担当 TEL23-8038
妊婦あんしんタクシー利用者助成事業	妊婦の方が出産のために、医療機関までの交通手段がない場合など、緊急にタクシーを利用した時の費用を1回の出産につき、1万5千円を上限に助成し、安心、安全な出産を支援します。	
新生児聴覚検査	赤ちゃんの健やかな成長を支援するために、医療機関で受ける新生児聴覚検査費用の一部を助成します。1回につき、3千円を上限とし、3千円を超えた分については自己負担となります。	
妊婦一般健康診査	妊娠中の健康管理のため、医療機関で受ける健診を助成します。回数は14回、費用は1回につき6千円を限度として市が負担します。なお、6千円を超えた分については自己負担となります。	
妊婦歯科健診	妊娠中の口腔の健康管理のために、妊婦歯科健診を実施します。市が交付する妊婦歯科健診受診券を市内の歯科医療機関に提出することで、歯科健診を無料で受けることができます。	
ママパパ学級	参加者同士の交流を持ちながら、妊娠・出産・育児に関する基本的な知識や技術について学びます。妊婦体操・呼吸法、栄養、スキンケア、各種制度の紹介など。	
産婦健康診査	出産後のお母さんが安心して育児をするために心と体の健康状態を確認する(医療機関で受ける)産婦健康診査費用を助成します。産後2週間・1か月健診で各1回ずつです。費用は1回につき5千円を限度として、5千円を超えた分については自己負担となります。	
妊産婦健康相談	保健師が電話や面接で、妊婦さんや産後のお母さんへの相談に応じます。	
妊産婦訪問	保健師または助産師が妊婦さんや産後のお母さんを訪問し、妊娠中や産後の生活等について相談に応じます。	
妊婦オンライン相談	妊婦を対象として、新型コロナウイルス感染症に対する不安についてオンラインで無料相談ができます。	
このとり支援事業(不妊治療費助成事業)	市内に1年以上住所がある方で、医療機関で不妊症と診断され、その治療を行っている戸籍上の夫婦を対象に、不妊治療に要した医療費の一部を助成します。助成額：医療費の自己負担額とし、1年度につき30万円を限度として助成します。(ただし、県や他団体からの給付を受けられる場合は、その額を控除した額となります。)	

妊娠に関する支援




施策名		事業概要	担当課
子育てに関する支援	出産育児一時金	国民健康保険の加入者が出産したとき、世帯主に出産育児一時金として、42万円が支給されます。ただし産科医療保障制度における出産でない場合は、40万4千円となります。	市民課 国保年金担当 Tel.23-8037
	子育て支援手当支給事業	子の出生日に本市に住民登録されている父または母を対象に、次代を担う児童の増加を願い、出生を奨励するとともに子育てを支援するため、手当を支給します。 平成30年4月以降から、第2子、第3子以降の支給額を増額して支援を拡充しました。 支給額：第1子 3万円、第2子 5万円、第3子以降 10万円	子育て健康課 子育て支援担当 Tel.23-8032
	児童手当給付事業	中学生までの児童を有する世帯を対象に、児童手当の給付を行います。0歳～3歳未満1万5千円(一律)、3歳～小学校修了前1万円(第3子以降は1万5千円)、中学生1万円(一律)【年3回 2月・6月・10月に4ヶ月分を支給】	
	子育て支援医療費助成金支給事業(医療費無料)	0歳から18歳(高校3年生)までの子どもを持つ保護者を対象に、子どもが病気やけがで通院・入院した場合の医療費、歯科診療費及び薬剤費等、保険診療による窓口での自己負担金が無料となります。	
	ひとり親家庭医療費助成事業(医療費無料)	18歳未満の児童を扶養している、ひとり親家庭等の親と児童、父母のいない児童が、病気やけがで通院・入院した場合の医療費、歯科診療費および薬剤費等、保険診療の窓口での自己負担分が無料となります。	
	ひとり親家庭自立支援給付金制度	ひとり親の職業能力の向上、雇用の安定および就職の促進を図るため、ひとり親自立支援給付金を支給します。 自立支援教育訓練給付金：ひとり親で市が指定した教育訓練給付講座を受講することが適職に就くために必要であると認められる場合、受講終了後、受講費用の6割相当を支給します。 高等技能訓練促進費：ひとり親で、看護師等高度な技能の資格取得のために1年以上修業する場合に給付金を支給し、生活の負担を軽減します。	
	児童扶養手当給付事業	父または母と生計を同じくしていない児童(18歳に達した日の年度末まで)を育成される家庭の生活の安定と自立の促進及び児童の福祉の増進に寄与するために児童扶養手当を支給します。支給額は、支給要件、所得額などにより変わります。	子育て健康課 保育支援担当 Tel.23-6232
	大月市病児・病後児保育	仕事の都合などによって、病氣中・病氣回復期にあるお子さんの保育がご家庭でできない方のために、市立中央病院に併設された保育施設でお子さんを一時的に預かる事業です。	
	インフルエンザ予防接種助成事業	生後6か月～高校生相当までのお子さんに対して、指定された医療機関においてインフルエンザの予防接種をした場合に、接種費用の一部を助成します。助成額：上限2,500円(※1回のみ。2,500円を超える額は自己負担となります。) 接種期間：毎年10月1日～翌年の1月31日まで	
母子手帳アプリ 子育てアプリ おおつき	妊娠期から子育て期を通して、子育てに役立つ機能のアプリです。スマートフォン等をお持ちであれば、家族でお子様の成長を共有することができます。		

施策名		事業概要	担当課
新生児・乳児期における支援	新生児・乳児・産婦訪問	新生児期・乳児期の赤ちゃんとお母さんを対象に、保健師が訪問し、赤ちゃんの発育・栄養・疾病予防など育児を行っていく上での相談に応じます。	子育て健康課 健康増進担当 Tel.23-8038 
	産後ママの安心相談室	生後1～4か月(5か月になるまで)の赤ちゃんとお母さんを対象に、保健師が相談に応じます。(育児相談、母乳に関する相談、体重測定、お母さん自身の体調の相談等)	
	育児教室	生後1か月の赤ちゃんとお母さんを対象に、予防接種の説明や、お母さん方の交流会を開催します。	
	予防接種	子どもの予防接種については、接種対象期間中であれば市が費用を負担します。予防接種の説明書と就学前までに使用する予防接種予診票は、育児教室(生後1～2か月児を対象の教室)で配布しています。	
	もぐもぐ(離乳食)教室	生後4か月～6か月の赤ちゃんとお母さんを対象に、成長に合わせた栄養のあり方や離乳食の作り方について学習します。栄養士による個別相談もあります。	
	乳幼児健康診査	4か月児健診・9か月児健診・1歳6か月児健診・2歳児歯科健診・3歳児健診を行います。また、健診の際には育児相談、栄養相談等の相談に保健師等が応じます。	
	乳児一般健康診査	1歳の誕生日の前々日までに、2回指定医療機関において無料で健診することができます。1回目は6か月未満(出来るだけ1か月健診)に、2回目は6か月～1歳の誕生日前々日までにご利用してください。	
	発育発達相談	体重の伸び、ことばの遅れなど、子どもの発育発達の気になることについて小児科医・臨床心理士・作業療法士・保健師が相談に応じます。	
ブックスタート事業	赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本を通して、暖かく楽しいひとときを持つことにより、心豊かな子どもに育つように願って絵本を贈り、子育てを応援します。	市立図書館 Tel.22-4815	
幼児期における支援	保育園・保育所	保護者が働いていたり、病気にかかっているなどの理由で、家庭で子どもの面倒をみる人が誰もいない場合、保護者に代わって保育する施設です。 保育所(市立): 初狩保育所、富浜保育所 保育園(民間): 真木保育園、大月保育園、令和にこにこ園 (※市立、民間による手続き、保育料等の違いはありません。)	子育て健康課 保育支援担当 Tel.23-6232
	幼稚園	満3歳から小学校就学までの幼児を教育し、年齢に相応しい適切な環境を整え、心身の発達を助長するための教育施設です。大月市内には、現在、私立幼稚園が3園あります。 (※入園手続き等、詳細は各幼稚園にお問合せください。)	大月キリストの教会幼稚園 Tel.22-0312 猿橋幼稚園 Tel.22-1331 鳥沢幼稚園 Tel.26-5310
児童期以降における支援	大月市学童クラブ	市内小学校の1年から6年に在学し、就労等により保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、施設を利用して適切な遊びや生活の場を提供します。費用: 月額3千円(8月分は7千円)	子育て健康課 保育支援担当 Tel.23-6232


施策名		事業概要	担当課
児童期以降における支援	ファミリーサポートセンター	育児の援助を受けたい人と援助を行える人が、それぞれ会員となり、子育ての相互援助活動を行っています。 育児の援助を受けたい会員には費用負担が発生します。 負担金：昼間750円/時間、早朝、夜間、土日祝日及び年末年始900円/時間（※市では、平成26年4月から、1時間当たり負担金に250円を助成しています。）	子育て健康課 子ども家庭総合支援センター Tel.23-1152
	大月市児童館	子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをする場及び親同士の交流の場とするところです。また、子育てに関する情報の提供や、相談にも応じています。18歳未満の子どもなら誰でも自由に利用出来ます。	
	大月市放課後子ども教室	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する様々な教室です。 放課後や週末等に安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行います。 教室名：織物体験教室、イーゼルアクション(子ども造形教室)、レインボーKIDS(マーチングバンド教室)、笹子追分人形クラブ	社会教育課 社会教育担当 Tel.23-8050
	児童生徒の登下校に係る路線バス定期券支給事業	児童生徒の登下校の安全確保を目的に、概ね1キロメートル以上から通学する児童生徒に対して路線バスの定期券を無償で支給します。	学校教育課 こどもの学び支援担当 Tel.23-8047
	児童・生徒の就学援助費制度	経済的な理由により、就学が困難な子どもをお持ちの世帯の保護者を対象に、基準により認定された方に学校にかかる費用の一部(学校給食費等)を援助します。	
	国際理解を深める英会話推進事業	各小中学校へ英語指導助手を配置し、外国人との直接交流を体験することで、外国語の言語や文化を理解し、国際人としての基礎を養い、英語力を強化します。	学校教育課 こどもの学び支援担当 Tel.23-8047
	NEW! 英語検定料助成金交付制度	実用英語技能検定(英検)を受験する生徒の保護者の経済的負担を軽減するとともに、生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的として、英検を受験する生徒の保護者に対し、受験に要する費用の一部を助成します。 対象：大月市内に住所を有し、中学校に在籍する生徒の保護者 助成金額：検定料の2分の1	
	教育支援室	保護者の子育てや進路、学校生活、特別支援等の悩みについて、教育相談員等(教員経験者)が相談に応じます。また、学校や家庭での教育活動全般についても、指導や助言など総合的に支援します。	学校教育課 教育支援室 Tel.23-8058
NEW! 大月市教育支援センター	不登校になっている子どもたちを支援するために、大月市教育支援センターを設置しています。不登校になっている児童生徒とその保護者及び学校と連携を密にしながら、子どもたちの心の居場所となり、学校適応や学校復帰及び社会的自立のお手伝いをします。	学校教育課 大月市教育支援センター Tel.23-7066	
進学支援	小林宏治育英奨学金給付事業	市内に住所を有する方の子女で、かつ県内にある高等学校から大学に在学し、品行方正、成績優良、身体強健で学資の支弁が困難と認められる者に奨学金を支給します。 奨学金給付金額：年額12万円以内	学校教育課 学校づくり担当 Tel.23-8048
	大月短期大学 修学費用の軽減	大月短期大学では、修学費用を軽くするように配慮を行っています。特に市内在住者は市外在住者に比べ、軽減の割合が大きくなっています。(入学金：市内在住者11万円、市外在住者：20万円)	大月短期大学 Tel.22-5611
	地方独立行政法人大月市立中央病院 看護学生修学資金貸与事業	看護師を養成する学校または養成所等に在学し、将来地方独立行政法人大月市立中央病院に勤務を希望する方を対象に、修学に必要な資金を貸与します。 貸与額：看護師等月額5万円(年額60万円)	地方独立行政法人大月市立中央病院 Tel.22-1251

住まいに関することを応援します

施策名	事業概要	担当課
市営住宅への入居	市営住宅は、公営住宅法等に基づき、市が管理し、賃貸している住宅です。民間住宅とは異なり、入居にあたっては収入基準等の一定の要件が必要です。 高齢者や障害者には、一定の条件に該当すれば収入基準を緩和していますが、大月市では、中学校卒業前の子どもがいる世帯や新婚世帯等が入居する場合にも、収入基準の緩和を行っています。	建設課 住宅担当 Tel.20-1852
木造個人住宅耐震診断支援事業	昭和56年5月31日以前に着工した木造個人住宅を対象に、耐震性を知り、耐震化を促進する目的で行う事業です。調査対象住宅の耐震診断費用は、市が全額負担します。※対象となる木造個人住宅は、2階建以下、延床面積300㎡未満です。	
木造住宅耐震改修等支援事業	耐震診断の結果、補強の必要があると診断された木造住宅の耐震改修等工事を行う所有者を対象に、工事費の一部を補助します。 補助額：対象工事費の5分の4以内(限度額100万円)	建設課 施設営繕担当 Tel.20-1853
木造住宅耐震シェルター設置事業	耐震診断の結果、補強の必要があると診断された木造住宅に耐震シェルターを設置する所有者を対象に、設置費の一部を補助します。 対象：高齢者等世帯 補助額：設置費の3分の2以内(限度額24万円)	
ブロック塀等安全確保対策支援事業	進路に面した危険性の高いブロック塀等の除却又は耐震改修工事を行う所有者を対象に、工事費等の一部を補助します。 補助額：対象経費の3分の2以内(限度額20万円：一般路線) (限度額30万円：重要路線)	
家庭用リチウムイオン蓄電池設置補助事業	家庭用リチウムイオン蓄電池設置費用の一部を補助します。 補助金額：5万円(一律)	市民課 生活環境担当 Tel.23-8023
浄化槽設置補助事業	公共用水域の水質汚濁を防止するため、大月市内の下水道未整備区域において合併浄化槽を設置する方(ただし下水道法第4条第1項の認可区域を除く。)を対象に、設置費用の一部を補助します。補助金額：5人槽33万2千円 6～7人槽41万4千円 8人槽以上54万8千円 (※対象には条件がありますので、詳細は担当へお問い合わせ下さい。)	
大月市浄化槽設置奨励補助事業	下水道法第4条第1項の規定により事業計画の認可を受けた区域で、下水道が未整備の地域において、浄化槽を設置する方を対象に、大月市浄化槽設置奨励補助金を交付しています。補助金額：人槽に関わらず 8万円	地域整備課 都市整備担当 Tel.20-1855
下水道事業に係る宅地内排水設備設置工事費補助事業	下水道に接続するために排水設備の改造工事を行う方を対象に、工事費の一部を補助します。 補助金額：工事費の2分の1(限度額10万円)	
資金融資斡旋制度	下水道の供用開始から3年以内に宅地内排水設備を行う方を対象に、資金の融資斡旋を行います。市内の金融機関(郵便局を除く)から融資を受けられます。「融資を受けた場合に生ずる利子は市が補助します。」ただし、利子の補給額は、年利率5パーセントを限度とし、延滞金利子は含まれません。 融資斡旋限度額：1世帯につき50万円	
NEW! 下水道使用料免除制度	排水設備の改造工事を行い新たに下水道へ接続した方を対象に、下水道使用料の免除を行います。 免除期間：最初の請求月から12か月	

施策名	事業概要	担当課
大月市定住促進住宅取得助成金制度	大月市外の方が住宅を取得した場合、助成金を最高150万円交付します。また、大月市内の方が住宅を取得した場合、助成金を最高120万円交付します。	企画財政課 地域活性化担当 Tel.23-5011 
大月市定住促進中古住宅取得助成金制度	大月市内の中古住宅を取得した場合、助成金を最高20万円交付します。	
大月市新婚世帯家賃助成金制度	大月市内の民間賃貸住宅を利用する新婚世帯に対し、家賃の助成金を月1万円、最長24ヶ月間を限度に交付します。	
大月市転入子育て世帯家賃助成金制度	大月市内の民間賃貸住宅を利用する市外から転入してきた子育て世帯に対し、家賃の助成金を月1万円、最長24ヶ月間を限度に交付します。	
空き家バンク制度	自分の所有している空き家を「貸したい」「売りたい」という考えをお持ちの方と、大月市での生活を希望し、住宅を探している方が登録し、その情報をホームページなどで共有し、空き家の有効活用を図ります。	
大月市空き家バンク成約物件リフォーム助成金制度	大月市空き家バンクに利用登録し、売買の成約に至った場合、空き家の購入者に対し、リフォーム工事費用の一部を10万円を上限に交付します。	
大月市空き家バンク登録促進報奨金制度	大月市空き家バンクに物件登録し、売買の成約に至った場合、物件の登録者に対し、3万円の報奨金を交付します。	

市内で起業する方を応援します

施策名	事業概要	担当課
企業立地奨励制度	新規企業の立地や既存企業の増設を検討している方を対象に、産業の振興及び雇用の創出を図るため、企業立地奨励金及び雇用促進奨励金を交付します。交付には一定の要件が必要となります。	産業観光課 産業振興担当 Tel.20-1857 
小規模商工業者事業資金利子補給制度	資金調達に苦慮している市内小規模商工業者を対象に、資金調達の軽減を図るため利子補給を行います。毎年10月1日から翌年9月30日までの間に支払った利子のうち、利子補給率(各借入資金で算出した利子の60%)により計算した額を補給します。ただし、利子補給の期間は各融資制度資金の借入日から5年以内とします。また同一の法人および個人に対して利子補給金は年額15万円を限度とします。	
特定創業支援事業を受けた創業者への支援	大月市で新たに創業する事業者を対象に、市が大月市商工会、市内金融機関等の支援機関の協力を得ながら、創業希望者を開業前から開業後まで、長期的に支援していきます。	
販路拡大支援事業補助金	大月市内の中小企業者が、販路拡大や販売促進のため、県内外で開催する商談会・展示会等に出展し、自社の製品を紹介する際に、その経費の一部を補助します。	
大月市空き家店舗活用事業補助金	市内の空き家や空き店舗を活用して起業する方に対し、出店時の店舗改修や看板等の設置に係る経費及び賃借料の一部を補助します。内装・工事費に要する経費の2分の1を30万円を上限に(1回)、店舗賃借料の月額分の2分の1を月2万円(1年間)を上限に交付します。	



施策名	事業概要	担当課
すこやか大月市民健診 (人間ドック)	国民健康保険に加入している方で、生活習慣病の発生率の高い年齢層の市民を対象に、計画的に人間ドック検診を行います。健診費用:1万3千円(自己負担分)	市民課 国保年金担当 Tel.23-8037
健康診査(若年健診・高齢者健診)	国民健康保険加入者または社会保険被扶養者の方で39歳以下の若年層及び75歳以上の後期高齢者医療保険加入者を対象に、健診を行います。(健診費用に一部自己負担があります。)	子育て健康課 健康増進担当 Tel.23-8038
特定健診	国民健康保険に加入している40歳～74歳の方を対象に、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診を行います。(健診費用に一部自己負担があります。)	市民課 国保年金担当 Tel.23-8037
がん検診	肺がん、腹部超音波(肝がん)、大腸がん、胃がん、前立腺がん、乳がん、子宮頸がんのがん検診を受診することができます。それぞれの検診には対象年齢が定められています。(検診費用に一部自己負担があります。)	子育て健康課 健康増進担当 Tel.23-8038
子宮頸がんバス検診	20～59歳の方を対象に年2回バス検診を行います。	子育て健康課 健康増進担当 Tel.23-8038
乳がんバス検診	20歳以上の女性を対象に年4回バス検診を行います。(内2回は20～59歳の方が対象です。)	
成人歯科健診	20歳以上の方を対象に、市が交付する成人歯科健診受診券を市内の歯科医療機関に提出することで、無料で歯及び口腔の健診を受けられます。	
特定保健指導	特定健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクがあり、生活習慣の改善による予防効果が期待できる方を対象に、特定保健指導による生活サポートを行います。	
健康相談	健診の結果や栄養等について、本人やご家族の健康に関する相談を、年間を通じて保健師・栄養士が相談に応じます。	
大月のさんぽみち (ウォーキングマップ)	楽しく歩きながら大月市の見どころを再確認し、運動をするきっかけとなり、市民の方の健康の保持増進へつなげることを目的として、平成27年度に作成しました。全30コース、ウォーキングの注意点や正しいウォーキングフォーム等を掲載しています。また、健康の保持・増進のため、コソコソウォーキング事業や、年に4回健康ウォーキング教室を実施しています。	
体力・運動能力調査	スポーツを通して、健康の保持・増進、体力の向上を図るため、20歳以上の方を対象に、年に1回、体力・運動能力調査を行います。(参加費無料)	社会教育課 スポーツ振興担当 Tel.23-8051
市民相談	市民の利益の擁護、増進のために、専門員による各種相談を無料で実施します。相談名:行政相談、人権相談、法律相談、登記相談、消費生活相談	市民課 生活環境担当 Tel.23-8023
生ごみ処理容器等購入助成事業	生ごみの土壌(堆肥)化による資源の再利用、ごみ減量のため、生ごみ処理容器および処理機の購入を助成します。補助金額:購入費の2分の1以内で、千円未満切り捨て。ただし、購入費が2千円未満の場合には、百円未満を切り捨て。限度額:生ごみ処理容器等3千円 生ごみ処理機2万円	

施策名	事業概要	担当課
ふれあい農園	<p>梁川町塩瀬(やながわ農園)と猿橋町伊良原(さるはし農園)の2箇所です。自分で手作り野菜を作ったり、畑を耕作することができます。</p> <p>1区画あたりの貸付農地面積:40平方メートル</p> <p>使用料:(やながわ農園)市内在住者 年額8千円 市外在住者 年額1万円 (さるはし農園)市内在住者 年額7千円 市外在住者 年額8千8百円</p>	<p>産業観光課 農林業担当 Tel.20-1833</p>
鳥獣害防除ネット等購入費補助事業	<p>農作物を有害鳥獣から守り、生産を高めるために防除ネット等を購入、設置する農業者を対象に、購入費の一部を補助します。補助金額:購入費の2分の1以内(限度額10万円)</p>	
特別聴講生制度	<p>大月市民の方々を対象に、大月短期大学の授業を特別聴講生として受講することができます。</p>	<p>大月短期大学 Tel.22-5611</p>
市民のための相談室(大月短期大学)	<p>生活の中での疑問や問題等、様々なことに関して、大月短期大学の専任教員が各専攻分野に付き、市民の方々のご相談に応じます。</p>	<p>大月短期大学 Tel.22-5611</p>
シルバーお出かけバス&障害者お出かけバス	<p>高齢者(65歳以上)および障害者の方々を対象に、市内のあちこちに路線バスで出かけていただけるように、1年間5千円の負担で「お出かけ年間パス」を交付します。</p>	<p>福祉介護課 福祉総務担当 Tel.23-8030 障害者支援担当 Tel.23-8031</p>
NEW! 高齢者運転免許証自主返納支援事業	<p>満65歳以上の市民で有効期限内の運転免許証を返納した方に、1万円(保証金【デポジット】含む)をチャージしたSuicaを交付します。</p>	<p>市民課 生活環境担当 Tel.23-8023</p>